

# 中部版

## 日本列島情報ネット

名古屋支社  
〒464-0074  
名古屋市中区千種区仲田2-15-12  
ワークビル3階  
電話・052(735)6556  
FAX・052(735)6557

### 松 植 基幹システムを刷新 全スタッフを受注状況把握

静岡地区大手鉄鋼三次製品特約店の植松(本社・静岡県沼津市、社長・植松孝康氏)は、かねてより再構築を進めていた基幹システムの更新が完了し、業務の変革、戦略的営業の展開による取扱を推進する。新システムでは、加工から配送までの受注状況をリアルタイムで把握できるようになったほか、将来的には在庫ロケーション(在庫位置検索)機能を付加し、効率的な機内作業の実現を目指す。基幹システムの刷新は15年ぶり。



### わが社のホープ?

○:愛くるしい表情で立つのは、ソフトバンク社製のヒト型ロボット「ベッパ」。  
○:鉄鋼三次製品特約店の植松が、ベッパを新入社員として採用した。個人用住宅リフォームのショールームに配属され

### 中部協組 磨棒鋼・CH鋼線生産 15年、5%減の36万8000トン

中部磨棒鋼協同組合(自動車用鋼材に特化)は組合員各社の2015年産分の生産、出荷実績を発表した。5年産分の生産、出荷実績をまとめた。その結果、15年は生産、出荷とも前年水準を3%余り下回った。主要向け先は自動車用鋼材が中心で、普通鋼が1年を通過して伸び悩んだことに加えて、軽自動車の

【出荷】▽磨棒鋼 9、▽冷間圧造用鋼線 3  
普通鋼1万8244、特殊鋼14万2225、合計16万0469(95・6)  
普通鋼1万2600、特殊鋼20万3100、合計21万5700(96・7)

### 美濃工業 アルミダイカスト新工場 4月から本稼働へ

中部地区大手アルミ製中津川市、社長・杉をスタートする。旺盛な需要に合わせた生産体制の構築を急ぐ構えだ。

### 東海地区の鋼材需要

東海地区の鋼材需要にも、この3年で減速ムードが色濃く出てきた。日本鉄鋼連盟がまとめた東海地区普通鋼材受注は、2014年10月あたりから月次で前年実績を下回る状態が継続。市場ボリウムを支えてきた鋼材類をほじめ、鋼材鋼管なども需要規模が着実に縮小している。

### 普通鋼鋼材受注 減少傾向に拍車

現物を扱う鋼材特約店で悩まされ、価格的には急激な減少傾向にある。小口で探算が取れなくて注状を見るとき、軌条などは鉄道の設備投資の減少も影響している。

### 3度は累計900万ト割れも

形鋼などは、建築関連の需要が底堅いとの見方もあり、構鋼・平鋼については設備投資や建築の動向からそれほど極端な需要減は目立つ。

への移行を目指すほか、今後能力増強や加工設備導入を都度行い、一貫生産体制の構築を急ぐ構えだ。



完成した新工場「D棟」

ループの大手非鉄流通、NSSBマテリアル(名古屋、社長・松井礼二氏)はホーム

### NSSBマテリアル ニューアル

い考え。設備情報をより詳しく掲載したことに加え、取扱品目欄には2014年10月から取り扱いはじめた航空機用素材の項目を追加。カタログのダウンロードも可能となった。

東海地区の有馬加工・販売業者の鋼機(本社・名古屋、社長・相川氏)は、昨夏に鹿

大三鋼機 鹿原

特殊鋼販売加工技士上級編 第1回講座を開催